

第10回 大和高田市 口腔ケア研修会(医科歯科連携)実施報告

- 日 時: 2018年2月8日(木) 17時30分~19時45分
- 場 所: 放射線治療棟 3F 大会議室
- 参加者数: ・院外 合計45名: 歯科医師28名(市内:16名・市外12名) 歯科衛生士14名
コ・メディカル 3名
・院内 合計24名: 医師、看護師、管理栄養士、ST、PT、MSW
- 講 師: 岩間歯科 青木 久美子 先生
やまもと歯科 山本 伸介 先生



青木先生よりまず、『オーラルフレイル』についての講義がありました。症例を紹介しながらの講義でした。

オーラルフレイルを改善するには、病院では低栄養の改善・サルコペニア改善のリハビリを行い、歯科では細菌の除去と口腔周囲筋のリハビリと病棟看護師へのケアの引き継ぎ・義歯作成を行うことが求められるとの事でした。また、定期通院中の患者で、水や唾液の喉頭残存を認めるようになり、神経内科へ紹介するとともに、ケアマネや家人への連絡など予防的な関わりの症例を紹介されました。

次に、山本先生より『歯科ラウンドの現状報告・システム構築・依頼内容からの問題提起など』について講演がありました。歯科ラウンド時に使用している情報提供用紙とその内容、ラウンドの様子を説明されました。

質疑応答では、歯科の在宅療養の取り組みについて、大和高田市の「在宅医療介護連携ハンドブック」で訪問診療のリストを掲載していること、義歯調整等軽微な処置は行えるが本格的な治療は困難であることを説明されました。

その後、パネルディスカッションとして意見交換会では『症例から多職種での協議・歯科ラウンドでの症例をもとに関わる職種での意見交換』をテーマに、山本先生および堀内歯科衛生士、横田医師、コ・メディカルで事例を用い活発な意見交換を行いました。そして、術前からの口腔リハビリと栄養状態の改善を行うことが、術後のQOLの向上につながる事を共有しました

今回も、多数の参加者があり、各職種における課題を考える有意義な研修会となりました。

今後も御協力をお願い致します。



参加有り難うございました。皆さま、お疲れ様でした！

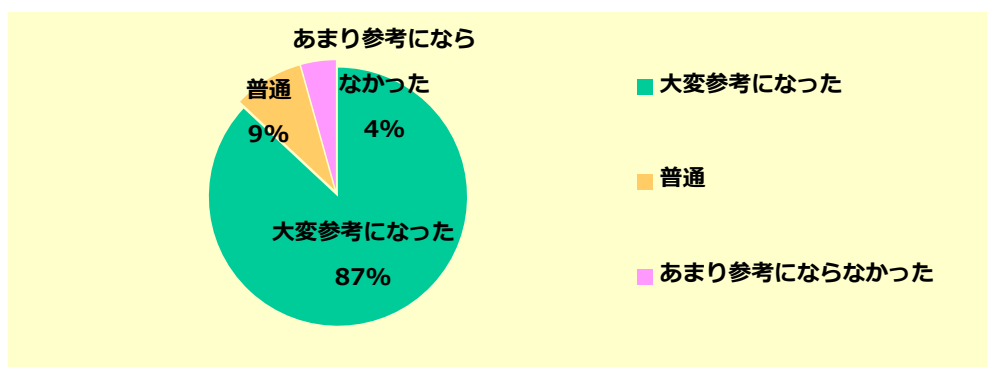


- 参加者数：69名（講師：2名 院外：43名 院内：24名）
- 回収数：46名 ● 回収率：67%

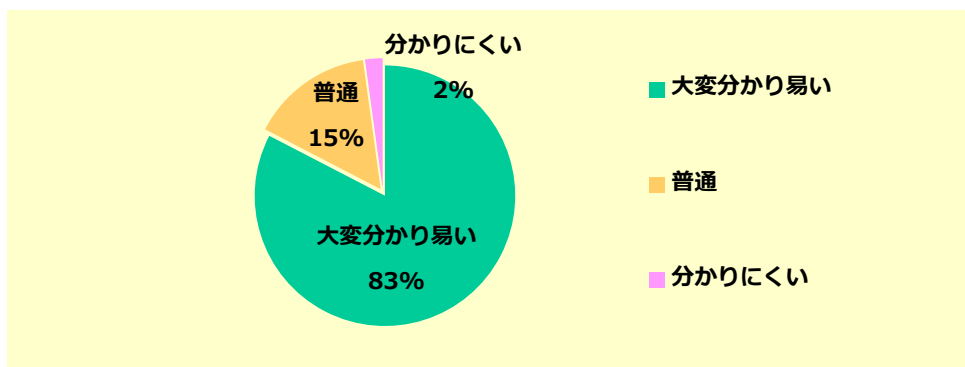
講演内容

- 『オーラルフレイル』 岩間歯科 青木 久美子先生
- 『歯科ラウンドの現状報告・・・システム構築・依頼内容からの問題提起など』 やまもと歯科 院長 山本 伸介先生
- 意見交換『症例から多職種での協議・・・歯科ラウンドでの症例をもとに関わる職種での意見交換』

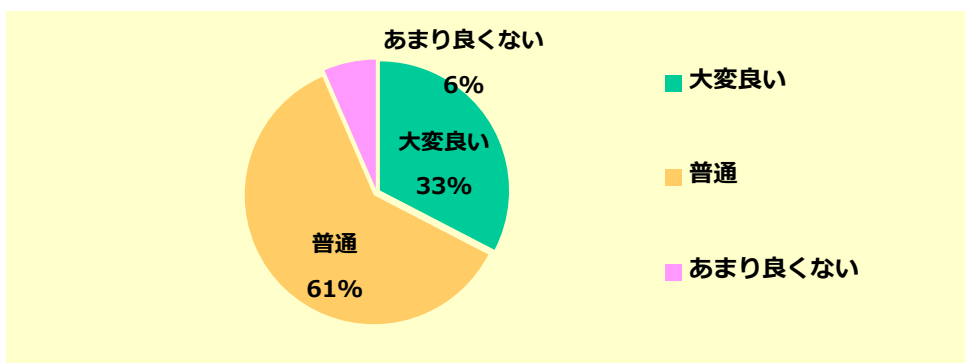
1. 今回の研修会は自己課題の解決や参考になりましたか。



2. 講義内容は分かり易かったですか。



3. 時間配分は良かったですか。



4. その他、お気づきの点や今後取り上げて欲しいテーマ等ありましたら、ご記入下さい。

- ・症例は、家族や本人のneeds、根本的な原因について（特に精神面）が全く問題にあがらなかったことが残念でした。多種であるからこそ気付けることがあると思いますが、、
- ・フレイルやサルコペニア、大変勉強になりました。
- ・症例検討（意見交換）の目的が分からなかったです。（低栄養改善、栄養摂取方法等に関して・・・という点では）何とかする方法を話し合うのではなかったのでしょうか。
- ・「意見交換」で私だけかもしれませんが聞きとりにくいところが多々あった。
- ・青木先生の「オーラルフレイル」の講演が内容が濃くわかりやすかった。成功例だけでなく反省しておられる点がとても参考になりました。意見交換についても他職種の専門的な意見が参考になりました。
- ・今回は初めて参加させていただき普段は、このような機会がなかったのでよかったです。
- ・他職種連携の必要性や重要性がよく分かってよかったです。
- ・いろいろの職種の方の意見交換大変参考になりました。
- ・訪問診療（在宅）を目指していますので何かと参考になるお話しだと思います。又、参考にさせていただきます。
- ・とても勉強になりました。また参加したいです。
- ・周術期の口腔ケアで注意すべきこと 1ヶ月くらいでよいのかどうか。
- ・こじんまりとして、意見の出やすい良い会をされているなぁと思いました。